



広田小学校だより

はまなす

校訓「希望に起ち 充實に活き 感謝に眠る」

陸前高田市立広田小学校
校 報 第 27 号
2025年3月12日

文 責 吉田和浩

6 年生に たくさんの「ありがとう！」

3月5日(水)に「6年生を送る会」が行われました。当日まで、1年生が招待状を書き、2年生は、6年生の写真へ「ありがとうメッセージ」、3年生はステージの題字、4年生はステージの飾り付け、5年生は縦割り班長へメッセージを書くなどの準備をしてきました。

会は、6年生が1年生と手をつないで入場することからスタートしました。そして、新児童会長の村上心さんが、今までの感謝を伝えるあいさつをし、その後、各学年の発表がありました。学年発表では、「休み時間に遊んでもらってうれしかったこと」「掃除の仕方を優しく教えてくれたこと」「登校班で優しくあいさつをしてくれたこと」などの感謝の言葉と運動会や陸上記録会で活躍する6年生の姿など、下級生の目標となったあこがれの言葉などが伝えられました。下級生を見守る6年生の優しさ一杯の笑顔が印象的でした。

今まで一緒に過ごしてきたことを振り返り、大好きな広田小学校での日々を素敵な思い出として大切にし、互いに感謝の気持ちを伝えることができた素晴らしい会となりました。



1年生は、ももたろうの劇と6年生にまつわるクイズをしました。



2年生は、6年生とチェッコリダンスと玉入れを楽しみました。



3年生は3年前に6年生が踊ったダンスを披露しました。



4年生は6年生と一緒に、力強く御祝いを披露しました。



5年生が代表してメッセージカードを手渡しました。



6年生は美しい合奏と合唱を発表しました。

3. 1 1 メモリアル集会を開催しました

3月10日(月)に米沢商会代表の米沢祐一様を講師としてお招きし、令和6年度 3.11メモリアル集会を開催しました。集会は1年生から3年生の部と、4年生から6年生の部に分け、学年に応じた内容を当時の写真などを用いながらお話をしていただきました。

まず、はじめに震災前の米沢商会ビルや市役所、商店街などの町並みがどのようなようであったかを振り返りました。そして、地震発生10分前にご本人をはじめとし、父母、弟、従業員の方がどこで、何をしていたのか、2時46分の190秒にも及ぶ揺れの激しさ、3時25分に押し寄せた津波の様子を詳しく話していただきました。子どもたちは、今は、何もない平地になっているビル周辺に、たくさんの家があり、人々が暮らしていたこと、それが震災後に何もなくなってしまったことに驚きを見せていました。その後、ビル屋上の煙突部分にしがみつき、一命をとりとめたこと。そこから見た津波の恐ろしさと、次の日の夕方まで、どのように自分自身の命を守ったのかを話していただきました。学習のまとめでは米沢様から、子どもたちへ大切にしてほしい事として3つのお話がありました。



- ①災害はいつ起こるかわからないこと。(自分なりの避難を日頃から家族と考えておくこと)
- ②自分が見たり、したりしたことを大切にすること。(体験や経験したことが自分の命を救うことになる。そのためにも、自分で見たり、したりしたことから多くを学んでほしい)
- ③自分のいのちは自分で守る。

そして、最後に、被災したビルを残しているのは、家族との大切な思い出であるビルの姿を通じて、震災を忘れてほしくない、「決して忘れない」という思いが強いからだと言われました。

子どもたちは、最後まで米沢様の話を真剣に聴き、自分なりに受け止めている姿が見受けられました。震災後に生まれた子どもたちに向けたメッセージ、「震災を語り継ぐ」ということが、着実に行われた集会となりました。

地域の皆さんと昔遊びで交流

3月5日(水)に1年生が生活科の学習で昔遊びを行いました。学習では地域の6人の先生からけん玉、おはじき、あやとり、お手玉、コマ回しの遊び方を教えていただきました。子どもたちは、昔の遊びの楽しさを全身で感じとり、笑顔一杯になりました。地域の先生を「〇〇ちゃん」と親しみを込めて呼ぶなど、和やかに交流することができました。

ご指導いただきました、菅野千春様、村上チタ子様、菊池与喜子様、蒲生ミヨ子様、熊谷弘子様、ありがとうございました。

